

農地・水・環境保全だより第39号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

多面的機能維持発揮活動 第5回『松阪のつどい』を開催しました！！

令和元年10月30日（水）、多気町の多気町民文化会館で「多面的機能維持発揮活動 第5回『松阪のつどい』」を開催しました。

松阪のつどいは、多面的機能維持発揮活動に取り組んでいる組織が集まり、情報交換と交流を行うことを目的に開催し、今回で5回目となります。松阪農林事務所管内4市町で活躍する100組織の方々と関係者合わせて約200人が参加しました。

開会挨拶では、主催者を代表して松阪農林事務所 松田所長の挨拶、続いて主催地を代表して多気町 久保町長より歓迎の挨拶をいただきました。

その後、おんじ屋代表 陰地伸哉氏による「地域の『豊かな暮らし』とは～移住農家の視点から～」の講演を行いました。陰地氏はミルククイーンという品種の米を栽培し、インターネットで販売を行っている農家で、2011年に度会町に移住されました。多面的機能維持発揮活動は地域住民の共同活動が基本であり、活動組織の活発な取組は「農村地域の豊かな暮らし」と密接な関係にあります。今回の講演では、移住農家になるまで、地域への関わり方、地域の共同作業の現状、今後の地域活動についての思いを、移住者ならではの視点からお話いただきました。今後、地域活動を行っていくうえで、新たな発見や気づきにつながったのではないかと思います。

続いて、松阪農林事務所より「『田んぼ』が洪水から地域を守る～田んぼダムの取組拡大に向けて～」の事例発表を行いました。「田んぼダム」とは田んぼのもつ「水を貯留することによる洪水防止機能」をより強化する取組です。取組方法は、切り欠きを入れた堰板を排水口に設置します。これにより、大雨の際の河川水位の急激な上昇が軽減されます。ロビーには実物の堰板を展示しました。

その後休憩をはさみ、組織間の情報交換と交流を目的として、意見交換会を行いました。グループに分かれて、自己紹介のあと、フリートークを行いました。「出会い作業をどのような方法で行っているか」「獣害対策をどうしているか」「草刈り機械の扱い方についての研修を行ってはどうか」「市町単位での意見交換会をしてみたい」「活動を行うことにより、



多気町 久保町長 歓迎の挨拶



フリートークの様子

地域の中でのコミュニティが広がった」など、活発な意見交換が行われていました。久しぶりの意見交換会ということで、参加者の方々から大変好評でした。今後の活動や組織運営に役立ててもらえるのではないかと思います。

また、展示室では管内11組織の活動内容をまとめたポスターや田んぼダムPR資料の展示を行いました。アンケートの結果は、講演・意見交換会について、多数の方から「参考になる」「今後もこのようなイベントに参加したい」といった回答をいただきました。今後も多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織のみなさまの情報交換と交流の場となるよう、『松阪のつどい』を継続して開催していきたいと考えています。

「第4回 多面的機能活動 伊賀・名張のつどい」を開催しました！

令和元年11月1日（金）名張市松崎町アドバンスコープADSホールで、「第4回多面的活動 伊賀・名張のつどい」が、秋晴れの中開催され、88組織・約350人が参加しました。

開会式では、主催者を代表して伊賀農林事務所 杉井孝充所長、続いて開催地 名張市 亀井利克市長が挨拶されました。

続いて会場ロビーに展示しているフォトコンテストの表彰式が行われました。「あなたのふるさと自慢」をテーマに、応募作品52点の中から最優秀賞1点・優秀賞2点・ふるさと自慢賞1点・特別賞1点が選ばれ、表彰状と副賞が贈られました。趣向を凝らした副賞に会場から笑いが起こるなど、賑やかな雰囲気となりました。



開会式の様子



フォトコンテスト表彰式

その後、初の取組み“パネルディスカッション”を実施しました。コーディネーターに三重大学大学院の大野研教授をお招きし、各市職員、活動組織の方、後に講演して頂く大台町 長ヶ区農地・水・環境保全の会 鈴木澄夫代表がパネラーとなり、問題解決の糸口を探しました。事前に募集した「お悩み事・お困り事・疑問などのアンケート」を基に ①遊休地や休耕田等の草刈りを行い、農村景観を良好に保

つための事例や取組方法 ②獣害被害をなくす活動や被害軽減に向けた取組方法 ③ITを活用した取組事例や効率化を図っている事例 ④担い手や人手不足についての解決方法を議題に討論。後のアンケートには、たいへん有意義だった！今後もこの様な討論会を実施してほしい…との声が寄せられました。

続いて管内取組み事例発表では、伊賀市 小天狗の里やまで 山崎義昭代表が発表しました。名前の由来でもあり地元で伝わる、寺社仏閣の再興や復興・ため池や水路等の治水事業を行ったという“小天狗清蔵”に倣って、治水施設の修復や農村環境保全の景観形成活動に力を注ぎ、美しい里を目指そうと5年前から活動を開始。中でも、農村環境保全活動の一環として、懐かしい農村風景をLEDイルミネーションで表現しようと協力して製作。年々リアル感・臨場感溢れる作品となり、冬の景色に彩を添え憩いの場となっていると話しました。後のアンケートに、簡単に取組めない発表に驚かされました…との声が寄せられました。

最後の県内事例講演では、多気郡大台町の長ヶ区農地・水・環境保全の会 鈴木澄夫代表が「みんなで守る！長ヶ集落の獣害対策」と題し、集落全体で役割分担をしながら農地保全（獣害対策）に取り組むようになったきっかけをはじめ、イノシシ・シカ・サル の捕獲方法や対策を紹介。獣害対策は農作物を守るだけの対策ではなく、集落全体を守る対策であり個々の対策で難しいことも、集落全体で行えば実現できる…と体験を熱く語りました。後のアンケートでは、長ヶ地区の獣害対策に感心した！素晴らしい！今後の参考にして行動していきたい…との声が多く寄せられました。

また、多くの参加者がロビーに掲示された組織の広報誌や活動内容の紹介に見入るなど、目的である多面的機能支払事業の活動組織間の交流及び、情報共有の場となっていました。

今年度で第4回目となり交流も深められ、来年度も工夫を凝らし開催していきたい！と考えております。

「第3回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました！！

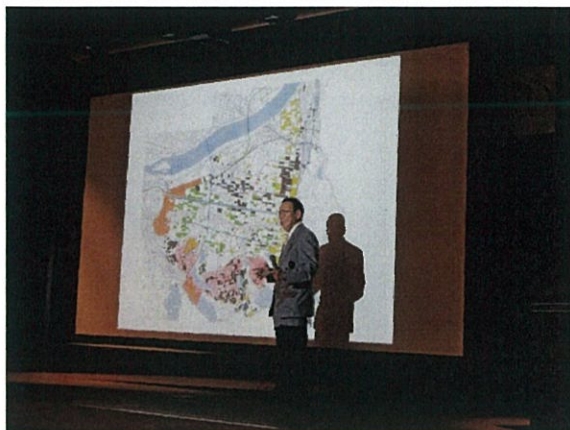
令和元年11月6日（水）に木曾岬町民ホールにおいて、活動組織間の情報交換や意見交換を行うことで、より一層活発な活動に取り組むための機会を提供することを目的に、「第3回桑員地域多面的機能活動のつどい」を開催しました。桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町の管内4市町の活動組織約50組織の関係者の他、管外の方々を含め、150名の参加がありました。

主催者を代表して、木曾岬町の森清秀副町長にご挨拶をしていただいた後、基調講演・ワンポイント講習・管内の取組事例発表・活動サポート・企業展示を行いました。

「基調講演」では、加古川市東部土地改良区理事長を務められた前田 功氏を講師にお招きし、『土地改良事業から得たもの』と題してご講演をいただきました。維持管理コストの軽減と省力化により認定農業者の数と経営面積を事業実施前の2倍とすることができ、また、日本初の国産デュラム小麦を作付け加工品の製造や販売にも力を入れ、6次産業化を進めることで雇用も創出し、地区における安定的な農業経営をもたらし、地域の活性化に新たな視点と挑戦で地域振興に繋がっているとお話をされました。



主催者挨拶 木曾岬町 森副町長



前田 功氏による基調講演

前田氏には70分間という大学の講義並みの時間をご講演して頂き、土地改良事業の効果と今後の取組など、参加者を飽きさせない講演となりました。つどい終了後には、参加した方から感銘を受けた、感動したとのお声を頂きました。

「ワンポイント講習」では、東海農政局農村振興部農地整備課 高木 始氏にご講演を頂きました。農業水利施設の現状・老朽化の進行・施設の長寿命化・機能診断及び補修方法について、ご説明を頂き、今後の活動の参考となりました。

「管内の取組事例発表」では、いなべ市の“東貝野地区を守る会”事務担当の谷口 詢弥氏にご講演をして頂きました。草刈や泥上げ、用排水路・道路の補修、景観形成などの活動や小学生を交えての農村環境保全活動について、ご紹介いただきました。

最後に、桑名農政事務所の郡山所長のあいさつで閉会しました。

閉会后に、「活動サポート」として、『地域で協力した活動にむけた資料作成について』桑名農政事務所農村基盤室農村計画課 稲田 幸仁氏にご説明して頂きました。活動組織の皆さまには、年度活動計画の策定、資源向上活動におけるポイント及び地域資源保全管理構想について、基礎的なことを再度確認していただくことができました。

桑員地域で3回目となるつどいの開催でしたが、参加者の皆さまは熱心に聞き入っており、満足して頂いた内容であったと思われ、主催者として大変ありがたい結果となりました。

次回もさらにパワーアップして、多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の皆さんの交流と情報交換の場としていきたいと考えています。

桑員管内のみならず三重県全域からのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、企業展示をしていただきました各企業様の丁寧な説明及び管内市町担当者様には、開催にあたる準備にご協力をいただき、特に、木曾岬町担当課様には会場の設営等をしていただきありがとうございました。

日頃の皆さまの活動を「たより」に紹介しますので、紹介を希望される方は事務局までどんどん投稿して下さい。

投稿先 〒514-0006 津市広明町330番地
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL：059-226-4824 FAX：059-225-7332